

あって、回送空車と同種の貨車で輸送できるもの (6) 貨車および船舶の運用を促進できる場合であって、その目的にそうもの。(酒本 昇・佐藤 昇)

かじやばらせん 鍛冶屋原線 高德本線板野駅から鍛冶屋原駅に至る 6.9km の線。高德線に属し線路等級は簡易線である。

大正 12・2 板西 (現在の板野)・鍛冶屋原間は阿波鉄道株式会社によって開通したが、昭和 8・7 政府において買収し鍛冶屋原線と呼ぶこととなった。またこの線は昭和 18・10 一時営業を休止したが、昭和 22・7 復活したものである。(森 徳寿)

かしやじょうじょう 貨車表示票 貨車に積載された貨物に対する行先その他必要な事項は*貨車車票によって表示されるが、貨物の性状および種類等の特殊の表示をするため、定められた様式により設けられている長さ 215mm、幅 145mm の厚紙を貨車表示票という。また単に表示票ともいい、使用の際は貨車の両側にある貨車表示票さしにそう入して使用する。

車票が貨車の発着駅・品名等その貨車の輸送上の基本的条件を表示しているのに対し、貨車表示票は輸送上の細かい事項についての条件を表示し、車票の補助的役割をもつものである。

当初は必要に応じて便宜の紙片に要領を記載し貨車両側のドアにはりつけたり、車票さしにくくりつけていたが、種々のふつこうが生じてきたので、昭和 6 年に現行様式の表示票が制定され表示票さしにそう入使用することになった。その当時は種類も 10 種類あったが、その後改正され現在では火薬表示票、火薬小口表示票、連結注意表示票、危険品表示票、列車指定表示票の 5 種類となっている。

貨車表示票の使用区分はつぎのとおりである。

1 **火薬表示票** 車扱の火薬類を積載した貨車に対して使用する。ただし小口扱のものにはつぎに述べる火薬小口表示票を使用する。

2 **火薬小口表示票** 小口扱の火薬類を積載した貨車に使用する。

3 **連結注意表示票** つぎの区分により使用する。

(1) 特定の危険品を積載した場合。すなわち車扱の圧縮ガスまたは液化ガス、車扱の揮発油・二硫化炭素または甲種の硝酸、タンク入密封のカーバイド、小口扱のアセチレンガスまたは圧縮水素ガスを積載した貨車にのみ使用する。(2) 付添人を付した場合、すなわち付添人が乗込んでいる貨車などで連結に際しとくに注意を要すると認めた貨車に使用する。(3) 鉄道管理局がとくに本表示票の使用を指示した場合。

4 **危険品表示票** 火薬類・アセチレンガスまたは圧縮水素ガス以外の危険品を積載した貨車であって、危険品車票の使用できない場合、すなわち火薬以外の危険品と普通品とを混載した場合等に用いられる。

5 **列車指定表示票** 貨主の請求に応じて輸送列車または連絡船を指定して列車指定車票を使用した場合、または本社、支社および鉄道管理局がとくに本表示票の使用を指示した場合に使用される。

列車指定表示票以外の表示票を使用する貨車で、輸送列車または連絡船の指定をする場合には、その表示票の区間欄ならびに日付欄および列車欄に所定事項を記入し、列車指定表示票は使用しないのである。これはたとえば貨物の性質を表わす危険品表示票と、輸送条件を示す列車指定表示票を同時に 2 つ使用することができないので、危険品表示票に指定列車を記入し、2 つの目的を同時に達するようにしているのである。

表示票は車票と同様に貨車輸送上重要なものであるから、その取扱いに当っては慎重を期さなければならない。したがって

車票と同様に表示票の作成はもちろんそう入・除去の取扱いはその責任者である貨物掛が行うことになっている。(菅野太次)

かしやゆそう 貨車輸送 貨物を積載した貨車を貨物列車によって駅間移動することを貨車輸送また単に輸送ともいう。

貨車を輸送する場合一般には貨物列車で輸送されるのが原則であるが、まれには入換の方法によることがある。すなわち臨港地帯の貨物支線における貨車輸送が、とくに一定の形式を整えた列車運転方式によらないで、構内入換作業と同様な取扱方法によって貨車移動を行う場合である。

貨車輸送はその性質上当然列車運行と密接不離の関係にあり、列車を動かすということを目的からみれば貨車輸送となり、手段的・技術的にみれば列車運行となるのである。したがって列車運行の適否が貨車輸送におよぼす影響は非常に大きいものがある。

貨車輸送はこれを細別すると中間駅発着貨車の輸送、列車組成、集結輸送、列車網の整備、**貨車輸送順序**の調整、これら日日の整備調整を中心とする輸送手配等に分けることができる。結局貨車輸送の目標とするところは、① 貨車の移動を円滑にし運転途中で貨車が停滞しないようにする ② 駅設備・線路容量・機関車・貨車等の最高能力を發揮すること ③ 貨車を可及的速達せしめ、かつ的確に目的の駅に到達せしめる ④ 駅および列車・機関車の乗務員の手数をできるだけ簡素化する、等であり実際問題としてはこれらの事項が相互相矛盾するものもあるが、矛盾の生じた場合はこれを調整して最高度の輸送能力を發揮することが、貨車輸送の要でありかつその任務である。(菅野太次)

かしやゆそうせいせき 貨車輸送成績 組立駅間の最小輸送力区間における最大輸送車数の実績をいう。組立駅は毎日 6 時を期し、1 日分の到着した列車につき、列車乗務員から提出された貨車解結通知書によって、隣接組立駅との間における貨車輸送成績を調査して鉄道管理局に報告することになっている。この報告は「ケースホ」と呼ばれ、日々の線区別区間別の運転状況、輸送貨車数の実績、輸送力に対する過不足状況および列車個々についての経済運転状況を握し、日々の輸送手配計画の資料とするとともに、列車時刻改正または列車増発計画等の重要な基礎資料の 1 つとして使用する。(菅野太次)

かしやようシート 貨車用シート 濡損または焼損のおそれある貨物を無がい貨車に積載して輸送する場合に、貨物の安全をはかるため使用するシートをいう。

国鉄においては貨車用シートを準備し無料で貨主に貸与する。その規格は古くから小形貨車の大きさを標準として長さ 8.2m 幅 4.61m のものが作られていたが、貨車の大形化により中形貨車を標準とすることが適当となったので、昭和 25 年度から長さを 9m、幅を 4.27m に改め従来のものを小形、新規のもの大形として運用している。重量はいずれも 60kg 以下である。生地は麻帆布を使用し、これにあまに油またはえの油を塗布して防水をはかっている。

貨車と同様常備駅を定めなくて全国を共通運用を行っている。到着・使用・所要数等を毎日駅から報告させ、需給上の調節をはかっている。

貨車用シートにはこのほか連絡社線の所有する**社有シート**および荷主の所有する**私有シート**があるが、これらは品質・形状が輸送上安全と認められ、その上所有者の氏名または商号その他の区別を標示したものにきがつて国鉄線内の使用が認められている。

なお、社車を国鉄線内に直通運用する場合でシートを必要と